

業績ハイライト

平成25年9月中間期の決算

当行単体の平成25年9月中間期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の決算は、経常収益が前中間期比14億9百万円増加の222億77百万円、経常利益が前中間期比43億円増加の50億96百万円、中間純利益が前中間期比32億79百万円増加の33億60百万円となりました。今中間期は前中間期のような大きな株式減損処理は発生せず、前中間期比増収増益となりました。

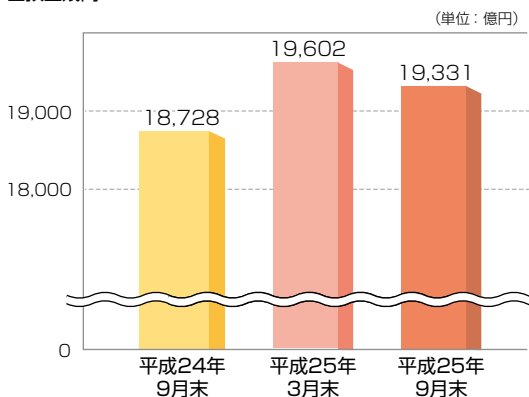
預金・貸出金等の状況

平成25年9月末の総預金残高は、平成25年3月末比271億円減少の1兆9,331億円、預金以外の個人預かり金融資産残高は平成25年3月末比91億円増加の2,845億円となりました。

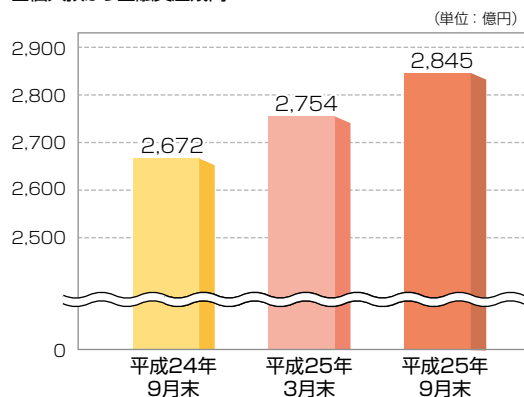
平成25年9月末の総貸出金残高は、平成25年3月末比5億円減少し1兆2,453億円となりました。

(注)個人預かり金融資産残高は、投資信託、生命保険、公共債の合計であり、外貨預金は含んでおりません。

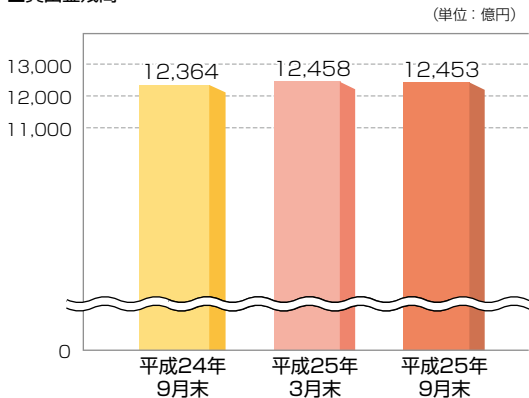
■預金残高



■個人預かり金融資産残高



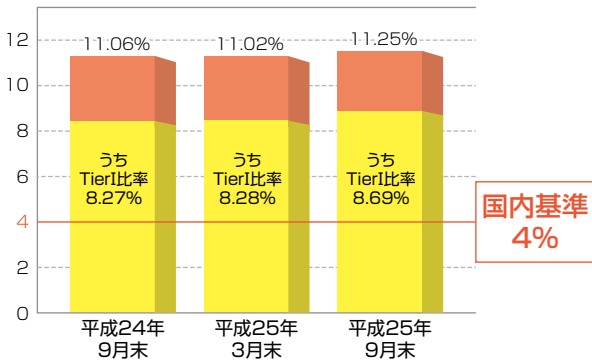
■貸出金残高



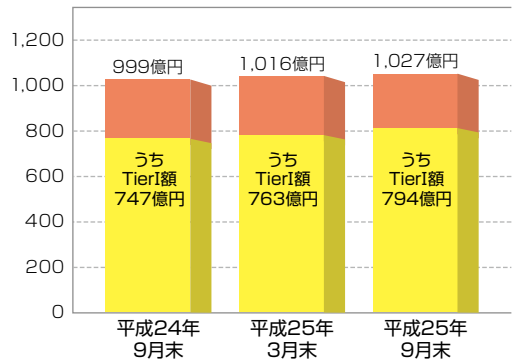
自己資本比率

- 当行単体の自己資本比率は、平成25年3月末の11.02%が平成25年9月末には11.25%となりました。
 当行のように国内だけで営業を行っている銀行(国内基準行)に求められる自己資本比率は4%ですので、当行はその倍以上の自己資本比率があるということです。

■自己資本比率(国内基準)



■自己資本額(国内基準)



不良債権の状況

- 債権総額に占める金融再生法開示債権(いわゆる不良債権)の比率は、平成25年3月末の3.72%が平成25年9月末には3.50%となりました。
 なお、当行は部分直接償却を行っておりませんが、部分直接償却を行った場合のこの比率をみますと、平成25年9月末で3.09%(平成25年3月末では3.23%)となっております。

■平成25年9月末の不良債権の状況

